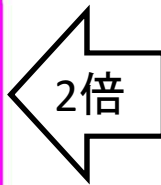


# 飲食店様 食品ロス削減への取組にご協力をお願いします

日本の「食品ロス」  
(約632万トン)

事業系  
うち可食部分と  
考えられる量  
(330万トン)

家庭系  
うち可食部分と  
考えられる量  
(302万トン)



国連WFPによる世界全体の  
食料援助量(2014)  
約320万トン



国民1人1日当たり  
食品ロス量  
約136g  
(茶碗約1杯のご飯の量に相当)

資料：WFP, 総務省人口推計(25年度)



## 食品ロスは『もったいない』

- ◎まだ食べられるのに廃棄される食品ロスは年間**632万トン**発生しています。
- ◎632万トンは、世界の**食料援助量の2倍**に相当し、国民**1人**が**1日当たりお茶碗1杯**のご飯を廃棄しているのとほぼ同じ量になります。
- ◎飲食店等からの食品ロスのうち**約6割**が**お客さんの食べ残した料理**です。
- ◎食べ残し量の割合は食堂・レストラン**3.6%**に対し、結婚披露宴**12.2%**、**宴会14.2%**となっています。
- ◎食品廃棄物等の再利用率は食品製造業の**95%**に対し、**外食産業は25%**になっています。

CHECK

## ★食品ロス削減に向けてできること★

- ☆食べきり運動・・・・・・・・「30・10運動」等をお呼びかけください。
- ☆小盛サービス・・・・・・・・食べきれる量を提供してください。
- ☆需要予測精度向上・・・・・・・・適時適切な量の把握に努めてください。
- ☆調理ロス削減・・・・・・・・「もったいない」を再認識してください。

# 残さず食べよう！30・10運動

◇30・10運動とは・・・

宴会時に最初の30分と最後の10分は食事を楽しみ、食べ残しを減らす運動です。(2011年度に長野県松本市が提唱)

**飲食店様は、宴会等の幹事や司会者へ「30・10運動」の趣旨と下記のアナウンス例をお伝えください。**

## 【司会者のアナウンス例】

### ①開会時に"30・10運動"に取り組む旨アナウンス

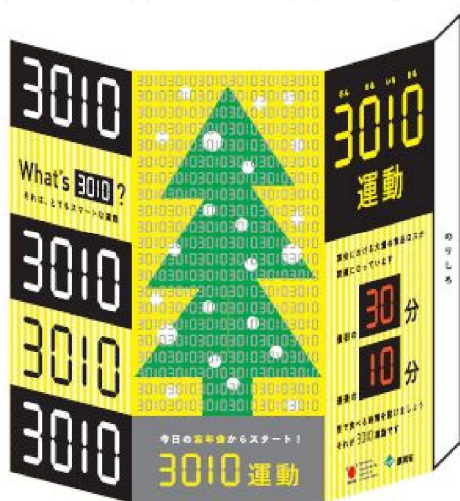
『ご出席の皆様へ、「残さず食べよう30・10運動」をご案内いたします。30・10運動とは、宴会時における食べ残しを減らす運動です。乾杯の後の30分間とお開き前の10分間は自分の席について料理を楽しみ、「もったいない」を心がけ、食品ロス削減の取り組みにご協力ください。』

### ②閉会10分前に「自席へ戻って料理を完食してください」等のアナウンス

『皆様にお知らせいたします。間もなくお開きの時間となりますので、今一度自分の席に戻り、料理をお楽しみください。』

環境省と農林水産省のホームページでは「30・10運動」等の啓発用資材がダウンロードできますので、ぜひ活用してください！

【3010運動テーブルトップ（全6種）】



【店舗用カード（ポスターあり）】



どなたでもご自由にお使いいただけます。  
ダウンロードはこちら

[http://www.env.go.jp/recycle/food/07\\_keihatu\\_siryo.html](http://www.env.go.jp/recycle/food/07_keihatu_siryo.html)

[http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku\\_loss/attach/pdf/index-38.pdf](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/attach/pdf/index-38.pdf)

[http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku\\_loss/attach/pdf/index-37.pdf](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/syoku_loss/attach/pdf/index-37.pdf)

